

●自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

<地域における実情と課題>

本市の婚姻件数は過去5年間、2,000件を下回っており、令和3年の婚姻率は4.2と2000年代以降、小刻みに増減を繰り返しながらも減少傾向が続いている。また、令和3年の合計特殊出生率は1.43と減少傾向にあり、早期に対策を講じる必要がある。

<本個別事業の位置付け>

平成29年度には「第5次和歌山市長期総合計画」を策定し、将来都市像を「きらり 輝く 元気和歌山市」と定め、実現のため4つの分野目標を示している。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」を実現するための施策として、安心して子供を生み育てることのできる環境の整備に取り組んでいる。

また、令和2年3月に「第2期和歌山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少に歯止めをかけ、将来に向かって活力ある和歌山市を維持するため4つの基本目標を掲げている。その中のひとつである「子供たちがいきいきと育つまち」の基本施策のひとつとして、「結婚から子育てにつなげる社会づくり」に位置付けられている。

(本個別事業における現状と課題)

結婚を希望しているにもかかわらず出会いの機会が少なく、結婚することができない市民の方に出会いの機会を提供するため、令和3年度から事業を開始した。世話人同士が連携して縁結び会で独身者の情報を交換し、担当する独身者にふさわしい相手を探し、出会いの機会につなげる取組みを行う。お見合い応援プロジェクトへ登録したものの、出会いの機会に恵まれない場合がある。

(課題への対応)

結婚支援のさらなる質の向上のため、世話人(結婚支援ボランティア)が効果的に活動を進めるため、独身者の悩みに寄り添い切れ目のない伴走型の支援を行う。

●取組内容

以下①～⑤を業務委託にて実施。

①育成計画の策定

世話人が効果的に活動を進めていくため、世話人の募集・研修・相談業務等をまとめた育成計画を策定する。

②世話人、登録者の管理

市広報誌や市HP、市公式SNS、チラシの配架、テレビCM等を行い、世話人の新規募集

と取組について継続的に幅広く周知する。とくに若い世代へ普及するための効果的な手段として SNS を活用した広報・周知を行う。

③世話人への研修の実施

「結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム」を活用し、世話人へ研修を実施する。研修は年間4回実施し、世話人約20名が参加する。

④結婚相談・伴走型結婚支援

世話人は担当する独身者から相談をうけ、悩みに寄り添い切れ目のない伴走型支援を行う。

また、相談者の方の実践の場として婚活イベントを年間2回開催し、代表の世話人もイベントに臨場することで、よりきめ細やかな支援を行なう。

⑤縁結び会の開催

縁結び会を年間4回実施し、世話人同士が独身者の情報を交換し、担当する独身者にふさわしい相手を探し、お見合いへつなげる。世話人約20名が参加する。市広報誌や市 HP、市公式 SNS、チラシの配架等を行い、継続的に幅広く周知する。